

## 令和3年度

### 劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

### 成果報告書

団 体 名	公益財団法人 佐世保地域文化事業財団	
施 設 名	アルカス SASEBO	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	18,500	(千円)
	公 演 事 業	8,198 (千円)
	人 材 養 成 事 業	7,709 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	2,593 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アルカスジャズナイト～ ウィリアムス浩子カルテ ット～	令和3年6月11日	ウィリアムス浩子(ボーカル)、佐藤 浩一(ピアノ)、須川崇志(ベース)、 今泉総之輔(ドラムス)	目標値	175
		イベントホール		実績値	144
2	レジデンス弦楽四重奏団 「アルカス・クアルテッ ト」特別公演弦楽三重奏 の調べ	令和3年8月7日	西野ゆか(ヴァイオリン) 柳瀬省太(ヴィオラ) 辻本玲(チェロ)	目標値	250
		中ホール		実績値	140
3	アルカス九十九島音楽祭 2021	令和3年8月21日・22 日(中止)※	新型コロナウイルス感染症の影響に より中止	目標値	18,000
		全館		実績値	—※
4	BLACK BOTTOM BRASS BAND のワールドブラスカーニ バル in SASEBO guest 伊東たけし(T- SQUARE) & 花*花	令和3年11月27日※	ゲスト変更、関連企画の内容変更  A Song for You、Sing Sing、聖者の 行進、あ～よかった ほか	目標値	750
		大ホール		実績値	394
5	アルカス SASEBO オリジナ ル室内オーケストラ「チェ ンバー・ソロイスツ・佐世 保」	令和3年12月10日	豊嶋泰嗣(音楽監督・ヴァイオリン) ほか	目標値	250
		中ホール		実績値	141

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和3年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アルカス SASEBO ジュニア オーケストラ、アルカス SASEBO ジュニアオーケス トラアカデミー	通年 令和3年8月22日※ 令和4年2月13日※ (中止)	【指導者】ミュージックアドヴァイ ザー：豊嶋泰嗣(チェンバー・ソロ イストツ・佐世保 音楽監督、新日本フ ィル・ソロ・コンサートマスター)、 指揮：清水醒輝、松元宏康 講師：地元講師23名	目標値	入場者 900人・ 参加者数 90人
		アルカス SASEBO ほか		実績値	参加者数 76人
2	アルカス演劇さーくる	通年 令和3年9月25日・ 26日※	【脚本・演出】宮原清美 【音楽】藤木和人 【振付】真崎千佳 【演出助手】中野順子	目標値	入場者 350人・ 参加者数 50人
		アルカス SASEBO ほか		実績値	入場者 253人・ 参加者数 32人

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アルカス SASEBO ロビーコンサート	①令和3年5月29日※ ②令和3年7月30日※ ③令和3年11月28日※ ④令和4年2月19日※  【アウトリーチ】 令和3年10月24日	①ウクレレ・フレンズ・クラブ (ウクレレ) ②させぼ少年少女合唱団 (児童合唱)、平間さと子 (ピアノ) ③松尾朱音 (二胡)・井坂圭一 (ピアノ)、☆SakurA☆ (アンサンブル) ④嬉野市民吹奏楽団 (金管アンサンブル)、山口紗弥 (ピアノ)  [アウトリーチ] 木下恒存、森山信吾 (津軽三味線) ほか	目標値	1,000
		大・中・イベントホール ほか		実績値	664
2	アルカス SASEBO ロビーコンサートスペシャル 2021	令和3年9月20日※	菊の会 (箏アンサンブル)、田端 結 (ピアノ)・霧野 帆香 (フルート)、中村卓士 (ピアノ)	目標値	250
		中ホール		実績値	191
3	アルカス SASEBO 音楽アウトリーチ事業「演奏家がやってくる！」	令和3年10月26日 ～令和4年3月11日※	亀子政孝 (コントラバス)、野澤彩子 (ピアノ)、上野裕介 (クラシックギター)、ツイズノ大橋理渚 (クラリネット)、梶原捺央 (クラリネット、ピアノ)	目標値	800
		市内小学校		実績値	725
4	ドレミであそぼう! 0才からのクラシックアンサンブル・リュネット～音で聴く絵画の世界～	令和3年10月30日※	アンサンブル・リュネット (フルート・カルテットノ森本英希・谷風佳孝・江戸聖一郎・小山真之輔)	目標値	175
		イベントホール		実績値	148
5	ドレミであそぼう! 3才からのクラシック おんがくしつトリオ	令和4年2月27日	おんがくしつトリオ 内藤晃 (ピアノ)、下中拓哉 (リコーダー)、菅谷詩織 (鍵盤ハーモニカ)	目標値	175
		イベントホール		実績値	97
6	ランチタイムコンサート Vol. 24 宮谷理香デビュー25周年記念ピアノ・リサイタル	令和3年7月16日	ショパン: 練習曲 ハ短調 作品10-12 「革命」、ノクターン 第13番 ハ短調 作品48-1 ほか	目標値	250
		中ホール		実績値	215
7	ランチタイムコンサート Vol. 25 お昼に木五! 長崎 OMURA 室内合奏団メンバーによる木管五重奏	令和3年10月8日	永留結花 (フルート)、桐谷美貴子 (オーボエ)、山下真知子 (ホルン)、池田祐希 (ファゴット)、樋口芳美 (クラリネット)	目標値	250
		中ホール		実績値	198
8	ランチタイムコンサート Vol. 26 九響メンバーによる打楽器アンサンブル	令和4年2月1日※	九州交響楽団 打楽器メンバー 森 洋太、黒川英之、伊藤拓也、吉永優香	目標値	250
		中ホール		実績値	167
9	大正時代に思いをはせて～文化財で聴く大正の名曲コンサート～	令和4年3月6日※	安部まりあ (ピアノ) 菊の会 (邦楽) ラリルーノ (器楽アンサンブル)	目標値	150
		佐世保市民文化ホール		実績値	124

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価									
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>									
<p>【社会的役割（ミッション）】</p> <p>令和3年度は、市主要文化施設（島瀬美術センター、佐世保市民文化ホール）も、財団が一元的に管理運営し、まちなかの交流促進と面的な事業展開を行なっていく新たなスタートの年となった。文化芸術の鑑賞の場、文化活動の支援の場の機能強化を図り、すそ野を広げていくことがこれからの財団の役割と考えている。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、文化芸術活動の自粛、施設の利用制限、公演の中止や延期など、文化芸術を振興する当財団にとっては厳しい社会状況ではあるが、ガイドラインに基づくコロナ対策を十分に行い、県北地域の文化芸術活動の拠点として財団の使命を果たしていく。</p> <p>【事業の実施について】</p> <p>財団の使命である文化事業の実施や施設の提供を行うために、施設の消毒や入場者の制限など感染防止対策を行い、地域住民が様々な文化芸術に触れる機会を提供する「鑑賞事業」と、普及、育成、交流、創造の4つの目的に応じて地域住民の文化活動を支援する「市民参加型事業」を実施。主に学生が対象となる事業や、地域住民が参加する事業6本が中止となったが、可能な限り活動を行い21,944人（前年比134%）の来場となった。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響があったもの</p> <p>公演事業② メンバーである川崎洋介がカナダ在住で、来日困難と判断し、他3名での特別公演として実施。</p> <p>公演事業③ 長崎県のコロナ感染ステージ引き上げ、および『特別警戒警報』を発令。これに伴い、2日間で600名以上の参加者が舞台に立つ大規模の公演であることから中止とした。関連企画であるサテライト会場での実施も同様に中止。交流スクエアの展示のみ実施した。</p> <p>公演事業④ ゲスト出演予定の綾戸智恵が、感染症による演奏活動の自粛を受け、ゲストを変更した。</p> <p>人材養成事業① 音楽祭中止の伴い8月22日の出演中止。2月13日定期演奏会中止。活動縮小・休止期間あり。</p> <p>人材養成事業② 活動縮小期間あり。</p> <p>普及啓発事業① ロビーコンサート4回全てホールでの実施に変更。</p> <p>普及啓発事業② 出演辞退団体あり。</p> <p>普及啓発事業③ コミュニケーション制限による内容変更、延期あり。</p> <p>普及啓発事業④ 関連企画ワークショップ中止。</p> <p>普及啓発事業⑧ アウトリーチコンサート中止。</p> <p>普及啓発事業⑨ 出演辞退団体あり。</p> <table border="0"><tr><td>◆鑑賞事業</td><td>◆市民参加型事業</td></tr><tr><td>(予定) 自主事業5本、共催事業6本 計11本</td><td>自主事業24本、共催事業6本 受託事業2本、協力事業1本 計33本</td></tr><tr><td>(中止) 自主事業0本、共催事業1本 計1本</td><td>自主事業2本、共催事業3本、受託事業1本、協力事業0本 計6本</td></tr><tr><td>(実施) 自主事業5本、共催事業5本 計10本</td><td>自主事業22本、共催事業3本、受託事業1本 協力事業1本 計27本</td></tr></table>		◆鑑賞事業	◆市民参加型事業	(予定) 自主事業5本、共催事業6本 計11本	自主事業24本、共催事業6本 受託事業2本、協力事業1本 計33本	(中止) 自主事業0本、共催事業1本 計1本	自主事業2本、共催事業3本、受託事業1本、協力事業0本 計6本	(実施) 自主事業5本、共催事業5本 計10本	自主事業22本、共催事業3本、受託事業1本 協力事業1本 計27本
◆鑑賞事業	◆市民参加型事業								
(予定) 自主事業5本、共催事業6本 計11本	自主事業24本、共催事業6本 受託事業2本、協力事業1本 計33本								
(中止) 自主事業0本、共催事業1本 計1本	自主事業2本、共催事業3本、受託事業1本、協力事業0本 計6本								
(実施) 自主事業5本、共催事業5本 計10本	自主事業22本、共催事業3本、受託事業1本 協力事業1本 計27本								
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>									
<p>質が高い文化芸術にふれる機会を会館ならではの事業として紹介するなど、地方都市において困難な独自の事業展開に挑戦しているほか、人材育成事業であるジュニアオーケストラや演劇さーくるは、人と人をつなぐコミュニティの場になっており、その繋がりが参加者同士による次の活動へと活発化している。また、音楽祭自体は中止となったが、市内各業者を巻き込んだマルシェを計画し実施することで、地域とのつながりが構築されている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け殆どの事業が規模縮小となったが、文化的、社会的、経済的意義が継続して認められると考える。</p>									

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

【公演事業】目標：国内外で活躍する一流のアーティストを招聘し地方都市に居ながらも最先端の優れた文化芸術に触れる機会を作ること、佐世保から音楽文化を発信することを狙い、取り組む。

満足度の維持・増加、60代未満の観客層の増加、継続事業への関心度の増加を目指す。

結果：オリジナルの楽団「アルカス・クアルテット」・「チェンバー・ソロイスツ・佐世保」は、継続して取り組み、一流の演奏家が佐世保に滞在してオリジナルのコンサートを作り上げる過程を地域に開いて音楽への親しみを増していただくとともに、全国の愛好家が佐世保に来たくなるコンサートを創造した。

「アルカス九十九島音楽祭」では、エリアを巻き込んでの街づくりを意識したイベントとして実施することを計画していたが、8月上旬の大規模な感染拡大を受け、交流スクエアでの絵画展示以外は中止と判断した。

・満足度の維持、増加（事業番号1・2・4・5）⇒大変満足・満足の合計が96%であり、維持することは出来ている。昨年度同様、コロナ禍に於いて実施したことへの感謝の声が寄せられている。

・60代未満の観客層の増加（事業番号1・2・4・5）⇒子どもも入場可能な公演を実施しているが、2年連続で60代未満の観客数が減少傾向にあるのは、職場や学校より、外出を控えるよう呼びかけられていることが要因と考えられる。

・継続事業への関心度の増加（事業番号2・5）⇒[公演を見たことがある][知っている]が増加しており、目標を達成することが出来ている。これは、継続して取り組んできたことの成果である一方、聴衆の多くが過去の同公演の来場者でもあると考えられる。次の展開を考えていきたい。

【人材養成事業】目標：多様な市民がホールを通じて文化芸術に能動的にふれることにより、地域文化の向上だけでなく、地域の絆を深め、将来的に地域の文化を支える人材を育成することを目標に取り組む。

結果：感染症対策を講じながらの活動となり、特に学生を含むこの2事業については、県や市、教育委員会などの方針に合わせざるを得ないこともあり、進行に苦慮した。そのような中でも、関わる全ての人が、常に自らのこと、他者のことを考え、行動したことは、地域の絆を深めるとともに、文化を支える人材育成に繋がっていくのではないかと考える。

【普及啓発事業】目標：様々な世代の方々により身近にホールの存在を感じてもらえるよう、また舞台芸術をより身近に感じてもらうような取り組みとして、無料で鑑賞できる公演や、低廉な料金で気軽に音楽を楽しむ公演、ホールデビューの機会となるような公演など様々な事業を行う。

結果：延期はあったものの、可能な限り、内容や対象を変えながら実施した。本来、会館のロビーを会場として無料で鑑賞できる「ロビーコンサート」は、感染症対策として、会場をホールへ移して実施。出演を辞退された団体もあるが、生の音楽に身近に触れる機会を提供するとともに、演奏家にもお客様の前で演奏を披露する機会を提供することが出来た。親子向け公演では、低年齢者の感染が拡大してきたこともあり、公演直前まで購入を検討されている傾向がある。シニア・一般向け公演では、ワンコインで1時間、気軽に楽しむクラシックとして、バラエティに富んだジャンルの演奏家を紹介し、普段中々コンサートには足を運ぶ機会の少ない方々にもアプローチ出来た。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

事業実施までの流れとしては、実施日の5~6ヶ月前に事業毎に戦略検討会議を行い、企画内容や収支予算を見ながら実施内容を固めている。チケットの販売促進なども状況を見ながら適宜会議を行い、目標が達成されるよう取り組み、公演終了後には会議にて反省点を洗い出し、フィードバックすることで、次の類似事業に活かす体制を取っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、告知開始日・チケット発売日・事業実施とそれぞれ直前まで、実施の可否や対策等について協議が行われた。令和3年度は、これを踏まえ、財団独自に長崎県のコロナ感染レベルに応じた開催基準を設け、適宜判断し、実施したことで、概ね計画通りに進んだと言える。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

入場者・参加者数において、目標値を達成できた公演はなく、事業費に見合ったアウトプットであったと言い切れないが、入場者・参加者アンケートを見ると、「大変満足」「満足」が98.5%を占めており、コロナ禍で実施したことへの感謝の言葉を多くいただけている。入場者・参加者だけではなく、出演者に対しても、文化芸術に触れる機会や、提供する場を作るという部分では非常に価値があったのではないかと感じている。尚、各事業、様々な変更が発生しているが、執行額が要望時の金額を超過した事業はなかった。

#### 鑑賞事業

(主に収入減となった事業)

- ・レジデンス弦楽四重奏団「アルカス・クァルテット」特別公演 弦楽三重奏の調べ
- ・BLACK BOTTOM BRASS BAND のワールドブラスカーニバル in アルカス SASEBO guest 伊東たけし (T-SQUARE) &花\*花
- ・アルカス SASEBO オリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスツ・佐世保」

(中止した事業)

- ・アルカス九十九島音楽祭 2022

#### 人材養成事業 ※活動休止・規模縮小期間あり

(内容変更した事業)

- ・ジュニアオーケストラ (第10回定期演奏会は中止)
- ・アルカス演劇さーくる

#### 普及啓発事業

(主に収入減となった事業)

- ・ドレミであそぼう! 3才からのクラシック おんがくしつトリオ

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

これまでアルカス SASEBO の事業に携わっていただいた演奏家との人脈を活かし、3つのオリジナル楽団（アルカス・クアルテット、チェンバー・ソロイスツ・佐世保、ジュニアオーケストラ）を設立し、国内外で活躍する一流のアーティストを招聘し地方都市に居ながらも最先端の優れた文化芸術に触れる機会を提供している。また、米海軍基地のある佐世保はジャズが盛んであったことから、その文化を後世にも伝えるべく、ジャズ公演（ジャズナイト、ブラック・ボトム・プラス・バンド）を実施。佐世保ならではの魅力を広く発信してきたと考える。

ジュニアオーケストラでは、多様な市民がホールを通じて文化芸術にふれていただくことを目的に、初心者でも入団可能としており、楽器の無い方でも参加できるよう楽器の貸出も行っている。

団員 80 人中 49 人（61%）が楽器借用（令和 4 年 6 月現在）

指導面では、長崎県唯一のプロオーケストラ「長崎 OMURA 室内合奏団」の楽団員を中心に、地元演奏家に日々指導いただいているほか、年に数回、公演に付随し、第一線で活躍する演奏家からの質の高い教育も提供している。

ロビーコンサートの企画・運営には地元のピアノ・声楽・管弦楽器・和楽器の各ジャンルからロビーコンサート運営委員として参画しており、地域の様々な文化関係者の協力のもと運営している。

音楽アウトリーチ事業では、演奏家が小学校の音楽室に出向き、音楽を聴くことの楽しさや素晴らしさを感じていただくことを目的に、平成 28 年度より取り組んでいる。令和 3 年度は第 1 期生と第 2 期生の 3 組で 13 校 24 クラスで実施した。コロナの影響により子どもたちの文化芸術の鑑賞機会が大幅に減少し、人との交流が制限される中で、アウトリーチ活動を通じて喜びや楽しさを届けられたことは、参加した子どもにとっても演奏家にとっても感じ得るものが多い体験となった。

指定管理先が増えたことによる、新たな取り組みとして、ドレミであそぼう！0 才からのクラシックでは、島瀬美術センターに協力を仰ぎ、関連企画として「お絵かきワークショップ～音楽を聴いて、絵を描いてみよう～」を予定。令和 3 年度は感染状況を鑑み中止となったが、今後も双方協力して事業展開を図りたい。

大正 12 年に建設され、平成 9 年に国の登録有形文化財に、平成 28 年には日本遺産の構成文化財に認定された佐世保市民文化ホール（旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館／愛称：凱旋記念ホール）では、ホールが建設された大正時代に誕生した童謡をはじめとする邦人作曲家による作品を、邦楽や器楽など、市民演奏家によるリレー形式で上演する市民参加型のコンサート「大正時代に思いをはせて～文化財で聴く、大正の名曲コンサート～」を実施。音楽と地域の文化財を結び付けた、佐世保でしか実現することのできないテーマ性を有した事業であるため、佐世保観光コンベンション協会に協力を依頼し、観光目的の方に対しての情報発信も行い、普段の公演来場者層とは異なる方などの新たな聴衆の開拓を図った。

これらのことより、公演・人材養成・普及啓発事業のいずれも多様な文化に誰もが触れられるよう、また、それぞれが関わり合いながらその輪を広げられるよう取り組んでおり、文化拠点としての機能を最大限発揮できる事業を行えたと考えている。



## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

育成事業の「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」、普及事業の市内小学校に地元演奏家を派遣する「音楽アウトリーチ事業 演奏家がやってくる！」など、地域の未来を担う子どもたちの育成に力を入れて取り組んだ。これらの活動は、県や市、教育委員会などの方針に合わせざるを得ないこともあり、活動休止や開催日延期等を余儀なくされたが、関わる全ての人が、常に自らのこと、他者のことを考え、行動したことは、地域の絆を深めるとともに、文化を支える人材育成に繋がったのではないかと考える。

平成 15 年から継続している全館を開放し市民が演奏を披露する「アルカス市民音楽祭（現・アルカス九十九島音楽祭）」、平成 16 年から行っている「ロビーコンサート」、様々な人が文化芸術に関わることで、誇りや生きがいを感じ、またその中で地域の絆を育み、その輪が広がっていくことで地域の未来がより明るいものとなることを期待している。

アルカス演劇さーくるは、不特定多数の者を対象としており、小学生から 80 代までの佐世保市近郊の方が参加。様々な職種・生活環境・立場の違う方で、得意不得意もそれぞれ違っており、プロジェクト始動当初はまとまるか不安であったが、コミュニケーションワークショップを重ねていくうちに、自然に助け合うことが出来ており、他世代との交流が薄い昨今、この事業を通し、他者のことを考え行動することの素晴らしさを実感することが出来た。参加者の中には地元で活動している劇団員や市内地区公民館職員もおり、両者はこの活動を通して得た知識や人脈を生かし、他地区でも演劇鑑賞や演劇の手法を用いたコミュニケーションワークショップを開催するなど、本事業外での活動も始まっており、アルカス演劇さーくるという場が、地元劇団と地域の人をつなぐ一助になったと考えている。また、声優や俳優を目指し、専門的に学ぶ学校へ進学した者もいる。将来、佐世保に戻ってきて、その知識や技術を還元してくれることを期待している。

これらのことから、主に人材養成事業・普及啓発事業を中心に、実演芸術等の振興および地域の文化芸術の発展に寄与できたと考える。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

#### 【指定管理について】

当財団は、佐世保の文化の振興及び地域活性化、多様で豊かな魅力ある町づくりを推進することを目的に設立された市の外郭団体であり、約 20 年に渡る活動の中で蓄積されたノウハウ・ネットワークをもとに、文化事業を推進する市のパートナー、公益と経営を両立した文化事業の実践者として、また最も市民に身近な文化・芸術の支援者としての活動が期待されている。

令和 3 年度からは、アルカス SASEBO、佐世保市民文化ホール、佐世保市博物館島瀬美術センターの指定管理者となり、三館の管理運営と文化事業を行うこととなった。美術・考古・歴史・民族等を専門とする島瀬美術センターと国の登録有形文化財であり日本遺産の構成資産でもある市民文化ホールが加わったことで、これまで以上に、幅広い分野で文化芸術の振興が可能となった。三館が県北地域における「文化創造活動の拠点」および「地域活性化の拠点」としての機能を最大限に発揮できるよう努めていく。

#### 【人材面】

開館準備段階より活動を行っているホールボランティアは、毎年度の登録制となっており、接遇研修や消防・防災訓練への参加を重ね、社会に貢献できる人材の育成の場となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、都度意見をもらい、試行錯誤しながら、来場者が安全で安心して公演を鑑賞できるようフロントスタッフ活動を行っている。

登録者数：56 名（令和 4 年 3 月末現在）

#### 【財務面】

財源確保の取り組みとして、平成 16 年度よりオフィシャルスポンサー制度を導入。総額の内一部を公演への協賛金としていただいている。

ジュニアオーケストラの活動についても、法人・個人のスポンサー制度を設けており、いただいた資金は楽器購入・運営資金として使用している。

オフィシャルスポンサー：1 社

ジュニアオーケストラ法人スポンサー：15 社

ジュニアオーケストラ個人スポンサー：18 名（令和 4 年 3 月末現在）

アルカス SASEBO の友の会組織である「アルカスクラブ」は、ゴールド、オレンジ、ホワイトの個人会員 3 種で運営しており、優待公演等を実施している。

会員の男女比は男性 26%、女性 74%で、年齢層は最も多く占めているのは 70 代で 31%、次いで 60 代が 30%と 60 代以上の方が全体の 74%を占める。会員数は年々減少傾向にあり、会員組織の改変が必要だと考えている。

会員数：ゴールド 870 名、オレンジ 150 名、ホワイト 646 名 計 1,666 名（令和 4 年 3 月末現在）

#### 【各方面とのネットワーク】

九州類似ホール連絡会に在籍しているほか、ジュニアオーケストラを運営している他館との意見交換・情報共有も定期的に行っている。